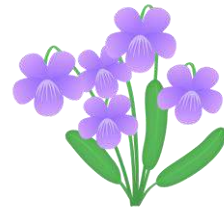


～湘北地区の世帯数・人口～		
地域	世帯数	人口
鶴が台	2,658(+216)	4,566(+401)
香川	4,999(+36)	11,593(-40)
松風台	616(-8)	1,459(-15)
甘沼	2,307(+37)	5,492(-21)
みずき	1,183(+11)	3,262(0)
湘北地区	11,763(+292)	26,372(+325)
茅ヶ崎市	107,474(+1,562)	245,728(+1369)

・ 2024年1月1日現在。()内は対前年同月比。



発行日 2024年3月15日
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 澄川 篤
 発行部数 9,500部
 編集 広報委員会 深栖 健男



特集 アフターコロナ、地域の力再集結 地域の担い手発掘のため、湘北福祉大学を開講

2023年大型連休が明けた5月8日に、新型コロナウイルスの位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。その後「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」に転換し、各地区では夏まつりが盛大に開催され、秋以降には、地域活動も活発になってきました。

地域福祉を考える懇談会では、長年課題としてきた地域の担い手発掘について、改めて過去の活動内容を振り返り、今年度は、新しい方策を取り入れることとしました。懇談会の中で、地域活動へのきっかけとしての、セミナーや講座を、ボランティアという言葉を使わずに開講してみてもどうか？というアイデアが沸き上がり、試行的に講座を開講することを決断しました。ボランティアという言葉が、無償奉仕というイメージにつながって、日常生活で忙しい世代にはなかなか受け入れられないと事前に声が上がっていたので、思い切ってボランティアのイメージから脱却する“湘北福祉大学”というネーミングを使いました。開講日も土曜日を設定し、働く世代にも参加しやすいようにしています。講座の内容的には牧岡先生のお話と、地域の方、5人に、ボランティアを始めたきっかけや、現在の活動内容や、楽しかった体験談などを語っていただきました。



2024年2月3日(土) 湘北福祉大学

当日、湘北福祉大学には20名の参加があり、共に地域で生きることの大切さと、地域活動は個人が楽しく生きるためにも大事なことである事に気づくこともでき、2時間半の講座があつという間に

終了しました。受講された方の中には、受講後すぐに地域へ入り込んで、活動をはじめた方もいらっしゃいました。3月に開催されるみんなのまつりでは、今回の受講生の卒業式を行う予定となっております。

そして恒例になりました、年に一度の社協のおまつり“みんなのまつり”は下記の予定で開催いたしますので、ぜひ、香川小学校校体育館へ、ご家族みんなでお越しください。



共育ひろば主宰 牧岡先生

みんなのまつり

ステージイベント、炊き出し、バー、模擬店など

開催日:2024年3月20日(祝)

開催時間:13時~16時

開催場所:香川小学校校体育館

地域福祉に貢献された功績表彰 第44回 茅ヶ崎市社会福祉大会

2023年11月23日（木・祝）茅ヶ崎市民文化会館において多年にわたり福祉活動をとおして地域福祉の推進貢献された功績に対し、感謝状が授与されました。

- 森井香代子（湘北社会福祉協議会）
- 井上忠義（個人ボランティア・のびしろクラブ）
- 宮原澄江（湘北社会福祉協議会）



森井香代子さん

各分科会の活動報告

健康福祉講座

健康福祉講座の活動は、医療機関の先生をお招きし、講座を開催することが出来ました。講座につきましては、みやさきクリニックの宮崎先生による「認知症の基礎と認知症カフェ」です。当日は56名の参加を頂き50分間の講座を行って頂きました。認知症の症状を理解することや、地域包括支援センターへの相談のしかた等を、分かりやすく説明して頂きました。また、先生の講座終了後に参加者から多数の意見・質問を受けていただきました。



健康福祉講座（香川公民館）

セカンドライフを楽しむ会



セカンドライフを楽しむ会（北根公園）

「楽しく歩いて健幸に！」～認知症予防のために～
セカンドライフを楽しむ会では、2023年10月7日（土）ボランティアセンターと甘沼北根公園を往復しました。当日は天気に恵まれ、北根公園到着後、まずは、包括支援センターの職員さんによる認知症予防のためのお話、その後ラジオ体操第1（関西弁バージョン）及び、ペタンクゲーム 自然の中で楽しむネイチャーゲームを楽しみました。参加者の感想では、「楽しかった、大変結構でした！、初めて参加しましたがまた次回も参加したいです。」等の声が多数寄せられました。参加者14名実行委員14名事故も無く半日という短い時間でしたが皆さんに楽しんで頂きました。

公民館まつり

第33回公民館まつりは3月9日（土）10日（日）に開催しました。湘北社会福祉協議会は3月9日（土）に4年ぶりに模擬店を出店しました。綿菓子、当てくじ、駄菓子、飲料の販売と社会福祉協議会・ボランティアセンター・包括あかねのパンフレットを配布して湘北社協のPR活動を行うことができました。



マリimba演奏の京谷さん

各地区のサロン紹介

ふれあいサロン 香川地区社会福祉協議会

香川地区社会福祉協議会の3つのミニデイサービス・サロンの中から「ふれあいサロン」をご紹介します。サロンではいつも、オープンすると間もなくシニアの仲間で集まりお茶やお好みのコーヒーを飲みながら談笑が弾んでフロアが賑やかなお喋りの場になります。

お馴染みのお一人は「一人であるよりいつもの仲間とワイワイやるのが楽しい」。常連メンバーは20数名ほどですが初めての方も進んで受け入れています。

<場所>香川自治会館 <日時>毎月第2・第4金曜日 10時から



ふれあいサロン（香川自治会館）

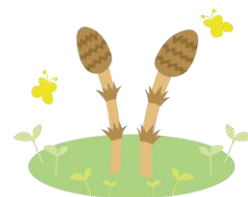
ほほえみサロン つるいち社協



ほほえみサロン（鶴一集会所）

2024年1月10日包括支援センターあかねの金平さまを講師に招き認知症予防についての講座を開催し「くち体操」や肩、膝に果物の名前を付けて果物を呼んで付けた肩、膝に手をあてる運動を指導いただきました。

2023年12月13日にはケーキを用意しクリスマス会を行いスタッフを含め20名の方が参加しました



ひまわりカフェの会 鶴が台団地社会福祉協議会

今年度の活動は、コロナにより時間短縮や飲食禁止、マスク着用など色々な制約がありました。夏くらいから、やっと通常通りに戻ることができ、月・火・木・金の午前11時から午後3時まで、お菓子やお弁当の持ち込みもできるようになりました。コロナの間に減ってしまった利用者の方も徐々に増え、皆さん楽しそうに集まって下さっています。これからも地域の憩いの場、見守りの一助になればと思っています。



ひまわりカフェの会（鶴が台団地集会所）



湘北地区社会福祉協議会 ～心配なこと～ 澄川会長



能登半島地震が起きてから「地震は決して他人ごとではない」と、私は茅ヶ崎での地震に恐怖を感じています。命と財産の崩壊の恐怖です。

大地震は近々「必ず起きる」と言われています。震度7の地震の倒壊に耐えられる建築基準は81年度から施行され、それ以前に建てた家屋は是非とも点検が必要で、耐震基準を満たす改修を考えたいものです。家具の固定も直ぐにして欲しい。対策すれば自分で命は守れます。一番大切なのは自分と家族の命は自分で守るといふ、強い意欲です。

澄川 篤



杉山茂紀さん 永い間の活動、ありがとうございました

これまで湘北地区の福祉活動全般に多大な貢献をしていただきました杉山茂紀さんが、ご高齢を理由にこの3月を節目として第一線から退かれることになりました。杉山さんはこれまで長きにわたり、湘北地区青少年育成推進協議会会長、湘北地区社会福祉協議会会長、自治会連合会会長、毎朝の香川小の通学路に立ち旗振りなどの実践をなさり、湘北地区の福祉活動の中心として長くご活躍なさいました。これからも、地域福祉活動全般に大所高所からのアドバイスを頂けるものと期待しています。長年のご貢献に心からの感謝を申し上げるとともに、更なるご健康をお祈りいたします。(文責：澄川篤)



杉山茂紀さん



2023年11月19日 甘沼自治会館

「ふくろうさん家」主催 甘沼作品展

趣味などの発表の場として「ふくろうさん家」主催のミニ文化祭を秋に行いました。ちぎり絵・刺繍・絵画・菊・鎌倉彫・木工・ちりめん細工・押し花・はり絵・リボンリース・写真など丹精込めたレベルの高い作品は多くの来場者にも大好評でした。良く知っている隣人の意外な趣味がわかり、新たな発見をする喜び。それぞれの自治会で発表の場を作ること、人々の交流や活性化も期待できると思います。

湘北地区社会福祉協議会
のホームページをご覧ください。



<広報誌のアンケート>
広報湘北へアンケートを
お寄せください。



編集後記

湘北地区社会福祉協議会では、広報誌の編集ができる方を募集しています。パソコンが使えて、ワードで編集ができる方ご連絡お待ちしております。 kfr03224@jcom.zaq.ne.jp (広報井上)